

第5号議案

平成31年度・令和元年度
事業報告書

社会福祉法人 宇宙心会

平成31年度・令和元年度
事業報告書

<法人本部>

社会福祉法人 宇宙心会

平成31年度・令和元年度 社会福祉法人宇宙心会 事業報告

1. 総括

当法人は平成29年4月、津志田西地区に「おおぞら村一番地保育園」を開所し、待機就学前児童の解消と各ご家庭の子育て環境の改善に繋がり地域貢献の一環となった。平成30年度4月より定員を60名から90名に定員変更を行い園児数も増加し120%弱の現状となり待機児童解消に向け、他保育所、及び周辺地域との連携をはかり保育所運営を行った。

2. 理事会の開催状況

本期間中5回開催し、議決事項は次のとおり

(1) 第21回理事会

開催年月日及び時刻 令和元年5月24日（金曜日）

午後1時30分から午後3時5分まで

開催場所 (株)日本デスコ会議室(盛岡市北夕顔瀬町2番44号)

出席理事名 石井 義道、杉澤 敏明、
佐伯 則幸、佐藤 匠子

理事総数6名中 4名出席

欠席理事 藤館 隆義、松嶋 大 2名

出席監事名 菊池 博、千葉 昇

監事総数2名中 全員出席

その他の出席者 相原 正明(顧問)、葛西 久雄(事務局長)、
小森 恵美子(事務局次長)

審議事項

第1号議案 平成30年度事業報告(附属明細書を含む)について

第2号議案 平成30年度貸借対照表(附属明細書を含む)について

第3号議案 平成30年度収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書。附属明細書を含む)について

第4号議案 平成30年度財産目録について

第5号議案 定時評議員会の招集について

第6号議案 役員(理事・監事)候補者の承認について

第7号議案 保育所用地の賃貸借契約書の改定について

(2) 第22回理事会

日時：令和元年6月10日(月) 書面によるみなし決議

<議決事項>

議案第1号 理事長の選定について

1 理事石井義道を理事長に選定する。

2 選定日は令和元年6月10日とする。

目 次

I. 総括	-----	1
II. 理事会の開催状況	-----	1
III. 評議員会の開催状況	-----	3
IV. 内部監査及び出納調査	-----	3
V. 事業所設置状況	-----	3

(3) 第23回理事会

日時：令和2年2月25日（火）

午後1時30分から午後3時5分まで

開催場所 (株)日本デスコ会議室(盛岡市北夕顔瀬町2番44号)

出席理事名 石井 義道、杉澤 敏明、松嶋 大(中途出席)

佐伯 則幸、佐藤 匠子

理事総数6名中5名出席(1名は中途出席)

欠席理事 藤館 隆義 1名

出席監事名 菊池 博、千葉 昇

監事総数2名中 全員出席

その他の出席者 相原 正明(顧問)、葛西 久雄(事務局長)、

小森 恵美子(事務局次長)

審議事項

第1号議案 平成30年度保育所運営費の返還について

第2号議案 平成31年度・令和元年度予算の補正について

第3号議案 評議員候補者の推薦について

第4号議案 評議員選任・解任委員会委員の補欠選任について

報告第1号 令和元年度児童福祉施設指導監査の実施結果について

報告第2号 令和元年度社会福祉法人指導監査の実施状況について

(4) 第24回理事会

日時：令和2年3月26日（木）

午後1時30分から午後3時5分まで

開催場所 (株)日本デスコ会議室(盛岡市北夕顔瀬町2番44号)

出席理事名 石井 義道、杉澤 敏明、

佐伯 則幸、佐藤 匠子

理事総数6名中4名出席

欠席理事 藤館 隆義、松嶋 大 2名

出席監事名 菊池 博、千葉 昇

監事総数2名中 全員出席

その他の出席者 相原 正明(顧問)、葛西 久雄(事務局長)、

小森 恵美子(事務局次長)

審議事項

報告第1号 理事長の職務執行状況の報告について

第1号議案 令和2年度事業計画について

第2号議案 令和2年度予算について

第3号議案 積立金の積み立てについて

第4号議案 平成31年度・令和元年度予算の補正について

第5号議案 定時評議員会の招集について

3. 評議員会の開催状況

本期間中1回開催し、議決事項は次のとおり

(1) 第12回評議員会

開催年月日及び時刻 令和元年6月10日(月曜日)

午後2時00分から午後3時5分まで

開催場所 コスモハイツ・八番地コミュニティルーム
(盛岡市津志田西一丁目17番55号 おおぞら村内)

出席評議員名 藤田修三郎、松岡親史、千葉務、小松勝幸
評議員総数5名中4名出席

欠席評議員 和泉正憲 計1名

出席監事名 菊池博、千葉昇
監事総数2名中 全員出席

出席理事名 石井義道

その他の出席者 相原正明(顧問), 葛西久雄(事務局長), 小森恵美子(事務局次長)

<議決事項>

報告第1号 平成30年度事業報告について

第1号議案 平成30年度貸借対照表について

第2号議案 平成30年度収支計算書(資金収支計算書及び事業活動計算書)について

第3号議案 平成30年度財産目録について

第4号議案 理事及び監事の選任について

4. 内部監査及び出納調査

(1) 令和元年5月14日(火)実施

平成30年度分(平成30年4月1日~平成31年3月31日)

平成30年度決算報告に関する監査

5. 事業所設置状況

平成28年

- ・4月1日 障害児通所支援事業申請認可
児童発達支援事業 にじの宇宙 開所
- ・8月1日 放課後等デイサービス事業 にじの宇宙事業所内にて開所

平成29年

- ・2月1日 放課後等デイサービス事業 にじの宇宙室小路事業所 開所
- ・3月31日 おおぞら村一番地保育園(保育所) 設置認可
- ・9月1日 おおぞら村一番地保育園(一時預かり事業) 設置許可

平成30年

- ・5月31日 にじの宇宙室小路事業所 休止

令和元年度

児童発達支援事業所 にじの宇宙
事業報告書

(児童発達支援)

目 次

I. 事業所の概要

1. 事業所の沿革	1
2. 事業所の名称及び所在地	1
3. 事業内容	1
4. 職員構成	1
5. 利用者の状況	1
6. 実施状況	2
7. ひやり・はっと 苦情受付件数	2

II. 運営方針

1. 運営の方針	3
2. 職員の基本姿勢	4

III. 諸会議・職員研修

1. 会議実施内容	4
2. 職員研修実施内容	4

IV. 防災関係

V. その他の活動

VI. 総括と今後の課題

I. 事業所の概要

1. 事業所の沿革

- *平成 26 年 3 月 デイサービスところ（定員 9 名）を開設
- *平成 27 年 4 月 障がい(児)者支援施設 にじの宇宙（定員 10 名）を開設
- *（平成 27 年 8 月） 放課後等デイサービス事業（定員 10 名）を開始

2. 事業所の名称及び所在地

名 称 にじの宇宙
所在地 岩手県盛岡市山岸六丁目 43 番 16 号

3. 事業内容

(1) 児童発達支援

- ・対象者 障害児
- ・利用定員 10 名
- ・活動日 月曜日から金曜日まで
(但し、国民の休日、12 月 29 日から 1 月 3 日までを除く。)
- ・活動時間 9 時から 17 時まで
(但し、前号の時間から送迎に要する時間を除く。)

4. 職員構成 (R1. 3. 31 現在)

職員職種	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1	1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士・指導員	2	4		4
合計	4	5		5

。。

5. 利用者の状況 (R1. 3. 31 現在)

(1) 児童発達支援

区分	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
男	0	2	1	1	1	5
女	0	0	0	0	0	0
計	0	2	1	1	1	5

(2) 地域別利用者数 (R1. 3. 31 現在)

盛岡市	平泉町	合計
4	1	5

(3) 障害種別 (R1. 3. 31 現在)

区分	肢体不自由	知的障がい	発達障がい	その他	合計
男	1	1	0	3	5
女	0	0	0	0	0
計	1	1	0	3	5

6. 実施状況

(1) 児童発達支援

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
開所日数 (日)	20	19	20	22	21	19	20	20	20	19	18	21	239
延利用児数 (人)	47	58	61	80	82	65	74	66	62	58	69	64	786
延送迎回数 (回)	94	116	122	160	164	130	148	132	124	116	138	128	1572
1日平均利用児数(人)	2.3	3.0	3.0	3.6	3.9	3.4	3.7	3.3	3.1	3.0	3.8	3.0	3.2

7. ひやり・はっと、苦情受付件数 (平成31年4月～令和2年3月)

ひやり・はっと	苦情受付	事故
1件	0件	1件

件数	ひやり・ハットの内容	結果
0件	1 施設運営に関する事	1 解決済み 1件 送迎表を道に落とした。 →近隣住民の方が拾った のを別職員が見 ており、取りに 行く。 確実に送迎車の 中に入れたこと を確認してから 発車することと した。 2 継続中 0件 3 1・2の内、県福祉サー
	2 施設設備等に関する事	
	3 職員の資質に関する事	
	4 施設生活に関する事	
	① 介護・介助・支援	
	② 食事	
	③ 入浴	
	④ 利用時間の人間関係	
	⑤ その他	
	5 その他	

		ビス適正化委員会で、解決又は継続中のもの 0件
--	--	----------------------------

件数	苦情の内容	結果
0件	1 施設運営に関すること 0件 2 施設設備等に関すること 0件 3 職員の資質に関すること 0件 4 施設生活に関すること 0件 ① 介護・介助・支援 0件 ② 食事 0件 ③ 入浴 0件 ④ 利用時間の人間関係 0件 ⑤ その他 0件 5 その他 0件	1 解決済み 0件 2 継続中 0件 3 1・2の内、県福祉サービス適正化委員会で、解決又は継続中のもの 0件

件数	事故の内容	結果
0件	1 施設運営に関すること 0件 2 施設設備等に関すること 0件 3 職員の資質に関すること 0件 4 施設生活に関すること 0件 ① 介護・介助・支援 0件 ② 食事 0件 ③ 入浴 0件 ④ 利用時間の人間関係 0件 ⑤ その他 0件 5 その他 1件	1 解決済み 1件 利用児がガラスを叩いて割りけがをした。 →救急車、保護者に連絡をして搬送し治療を受ける。 ガラスに飛散シートを貼った。 けがをした際の、対応についても全職員で再度確認する。 2 継続中 0件 3 1・2の内、県福祉サービス適正化委員会で、解決又は継続中のもの 0件

II. 運営方針

1. 基本方針

- (1) 様々な障がいがあっても身近な地域で適切な療育が受けられる場を提供した。障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を実施した。
- (2) 障がいの特性や生活の実態に応じて、児童の自立の促進、生活の質の向上を目指し、継続的な支援の提供に努めた。個別支援計画の策定に当たっては、障害児の意思及び人格の尊重と、保護者及び事業所と三者で協議しながら行いました。相談支援事業所、支援学校とも協議しながらサービスの提供、評価・見直しを行い効果的な支援に努めた。
- (3) 障がいを持つ児童も1人の子どもとして尊重され、家族が心豊かな暮らしが続けられるよう、地域及び家族との結びつきを重視した運営を行った。事業の実施に当たっては、地域の結びつきを重視し、地域の催しに参加したり、関係市町村、他の障害福祉サービス事業者等の活動に参加したり連携を深めた。
- (4) 児童福祉法及び指定障害児通所支援の事業等の設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成24年岩手県条例第79号）に定める内容、その他関連法令等を遵守し、事業を実施した。

2. 職員の基本姿勢

事業に対する期待と要請を正しく受け止め、基本理念と事業所の目的を尊重し、職員自ら切磋琢磨してにじの宇宙の従事者、専門職としての資質の向上に努めた。

III. 諸会議・職員研修

1. 会議実施内容

(1) 職員会議

月2回全職員参加で開催。利用児の障がいについてや支援方法、利用者状況の確認、苦情・ひやりはつの原因、対策検討、次月の活動計画、運営の方針等を申し合わせた。

(2) 個別支援会議（モニタリング）

個別支援計画の目標の進捗状況の確認、評価、見直しを行った。

2. 職員研修実施内容（放課後等デイサービス合同）

	研修内容	場所	参加者
1.6.3~4	社会福祉ファシリテーション研修	盛岡市	山口

1. 6. 11	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	盛岡市	山口、松田
1. 7. 30 8. 6 9. 6	重症心身障がい発達障がい支援者育成研修	盛岡市	木村
1. 10. 23 1. 10. 24	医療と介護の総合展	東京	松田、高橋
1. 11. 13～14	福祉職員キャリアパス対応障害研修課程初任者編	盛岡市	村上
1. 11. 17	岩手県発達障がい相談支援スキルアップ研修・普及啓発研修会	盛岡市	木村
1. 12. 11～12	女性リーダーのための指導力強化研修	遠野市	松田
1. 12. 12	岩手県障がい者虐待防止研修	盛岡市	佐藤
2. 1. 14～15	中途採用に対する新入社員研修	遠野市	松田
2. 1. 14	盛岡地域福祉サービス苦情解決情報交換会	盛岡市	渡辺
2. 1. 28	中長期計画策定セミナー	盛岡市	渡辺
2. 2. 17～18	若年者ステップアップ研修	遠野市	村上

IV. 防災関係

1. 防災避難訓練実施内容（放課後等デイサービス合同）

月	発生内容	ねらい	利用児の活動	参加人数
4	火災 (和室コンセント)	職員が子供の生活を守る使命を認識する。 火災時における安全な避難誘導體制の確立。	安全な場所に速やかに避難する。	利用児 4名 職員 7名
5	火災 (事務室コンセント)	職員が子供の生活を守る使命を認識する。 火災時における安全な避難誘導體制の確立。	安全な場所に速やかに避難する。	利用児 4名 職員 5名
6	地震	職員が子供の生活を守る使命を認識する。 避難場所の確認と共に、	落下物が少ない室内中央にあつまり、揺れが収まった後速やかに	利用児 4名 職員 7名

		<p>減災に努める。</p> <p>おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。</p>	<p>避難する。</p>	
7	地震 (和室コンセント)	<p>担当する係が変則的になっても適切に行動する。</p> <p>地震時における安全な避難誘導體制の確立。</p> <p>避難場所の確認と共に、減災に努める。</p>	<p>落下物などが少ない室内中央にあつまり、揺れが収まった後室外に速やかに避難する。</p>	<p>利用児 5名</p> <p>職員 6名</p>
8	消防署見学	<p>映像や説明で火災や地震について知る。</p> <p>煙体験や地震体験を通して実際に地震、火災が起きた際の行動を知る。</p>	<p>災害等についての話を聞く。(絵本等、災害になったらどのようにしてはならないのかを知る。)</p>	<p>利用児 9名</p> <p>職員 3名</p>
9	火災 (和室コンセント)	<p>火災時における安全な避難誘導體制の確立と非常連絡網の活用。</p> <p>担当する係が変則的になっても適切に行動する。</p> <p>火災時における安全な避難誘導體制の確立。</p>	<p>安全な場所に速やかに避難する。</p>	<p>利用児 4名</p> <p>職員 6名</p>
10	地震後火災 (事務室コンセント)	<p>大地震を想定し、第二次避難場所(プリムローズ公園)への避難の仕方を確認する。</p> <p>避難場所の確認と共に、減災に努める。</p> <p>おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。</p>	<p>指導員の話の静かに聞く。</p> <p>靴を履いて避難する。</p>	<p>利用児 4名</p> <p>職員 6名</p>
11	地震後火災 (和室コンセント)	<p>大地震を想定し、第二次避難場所(プリムローズ公園)への避難の仕方を確認する。</p> <p>避難場所の確認と共に、減災に努める。</p> <p>おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。</p>	<p>指導員の話の静かに聞く。</p> <p>防寒着を着用し、靴を履いて避難する。</p>	<p>利用児 4名</p> <p>職員 7名</p>

12	通報訓練	<p>通報の際の流れを知る。</p> <p>実際に通報しなくてはならなくなった時を想定し、全職員が何かあった際、対応出来る様にする。</p>	<p>災害等についての話を聞く。(絵本等、災害になったらどのようにしなくてはならないのかを知る。)</p>	<p>利用児 15名</p> <p>職員 7名</p>
1	地震後火災 (和室コンセント)	<p>大地震を想定しつつ、担当する係が変則的になっても適切に行動する。</p> <p>おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。</p>	<p>指導員の話进行静かに聞く。</p> <p>防寒着を着用し、靴を履いて避難する。</p>	<p>利用児 4名</p> <p>職員 6名</p>
2	地震	<p>大地震を想定しつつ、担当する係が変則的になっても適切に行動する。</p> <p>おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。</p>	<p>指導員の話进行静かに聞く。</p> <p>防寒着を着用し、靴を履いて避難する。</p>	<p>利用児 4名</p> <p>職員 5名</p>
3	地震	<p>大地震を想定し、第二次避難場所(プリムローズ公園)への避難の仕方を確認する。</p> <p>おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。</p>	<p>指導員の話进行静かに聞く。</p> <p>防寒着を着用し、靴を履いて避難する。</p>	<p>利用児 16名</p> <p>職員 9名</p>

V. その他の活動 (主な行事)

(放課後等デイサービス合同)

実施月	行 事 内 容	場 所
5月	遠足	盛岡市動物公園
7月	七夕会 ふれあいランド探検	にじの宇宙 ふれあいランド
8月	虫よけスプレー 盛岡歴史文化館見学	にじの宇宙 盛岡歴史文化館

10月	ハロウィン	にじの宇宙
12月	クリスマス会	にじの宇宙
1月	みずき団子作り スケート教室 電車乗車体験/五番地バイク体験	にじの宇宙 盛岡県営スケート場 盛岡駅-飯岡駅/五番地
2月	節分/おやつパーティー	にじの宇宙
3月	ひな祭り製作	にじの宇宙
通期 (定期)	毎月身体測定実施	にじの宇宙

VI. 総括と今後の課題

令和元年度の年間延べ利用人数は 786 名ご利用頂きました。職員配置や、送迎体制を整え、安全面への配慮も出来ました。

活動内容に関して、五感を使い年齢や、発達、成長、特性に合わせた工夫、教材準備等の取り組みが必要です。

今後の課題として、安心・安全に過ごしてもらう為、ヒヤリハットの検証と、個別支援については、利用者の希望、保護者の願い、要望を尊重しつつ個別支援計画に盛り込み、学校、相談、関係機関と連携しながら取り組みました。

利用者の学校送迎、自宅送迎での安全運転、送迎車点検、運転マニュアルの見直しの取り組みも必要です。

さらに、保護者様からの貴重なご意見、要望を事業所職員に気軽に話が出来る環境を整え、意見要望に対し誠意をもって対応していきます。

○ 今後の課題

- ① 個別支援計画を事業所全体で共有し、適切なサービス提供を行う。
- ② 面談、連絡帳、おたより等を通じ保護者との連携。

- ③ ヒヤリハット事例検証と、苦情等への取り組み。
- ④ 家族等の相談、要望、苦情等に対応し、サービスの質の向上に努める。
- ⑤ 職場研修、自己研修（自己研鑽）に取り組む。
- ⑥ 人権擁護、虐待防止に努める。
- ⑦ 事業所内整理整頓、室内外の環境整備に努める。
- ⑧ 人員確保のため、支援プログラムの確立、営業活動の強化に励む。

令和元年度

放課後等デイサービス にじの宇宙
事業報告書

(放課後等デイサービス)

目 次

I. 事業所の概要

1. 事業所の沿革	1
2. 事業所の名称及び所在地	1
3. 事業内容	1
4. 職員構成	1
5. 利用者の状況	1
6. 実施状況	2
7. ひやり・はっと 苦情受付件数	2

II. 運営方針

1. 運営の方針	3
2. 職員の基本姿勢	4

III. 諸会議・職員研修

1. 会議実施内容	4
2. 職員研修実施内容	4

IV. 防災関係

V. その他の活動

VI. 総括と今後の課題

I. 事業所の概要

1. 事業所の沿革

- *平成 26 年 3 月 デイサービスところ (定員 9 名) を開設
- * (平成 27 年 4 月) 障がい(児)者支援施設 にじの宇宙 (定員 10 名) を開設
- *平成 27 年 8 月 放課後等デイサービス事業 (定員 10 名) を開始

2. 事業所の名称及び所在地

名 称 にじの宇宙
所在地 岩手県盛岡市山岸六丁目 43 番 16 号

3. 事業内容

(1) 放課後等デイサービス

- ・対象者 心身に障がいがあり受給者証を交付されている方
- ・利用定員 10 名
- ・活動日 月曜日から金曜日まで
(但し、国民の休日、12 月 29 日から 1 月 3 日までを除く。)
- ・活動時間 下校時から 17 時まで
(但し、長期休みの場合、9 時から 17 時まで)

4. 職員構成

職員職種	基準	専従	兼務	計
管理者	1		1	1
児童発達支援管理責任者	1	1		1
保育士・指導員	2	5		5
合計	4	6		7

5. 利用者の状況 (契約者数) (R2. 3. 31 現在)

(1) 放課後等デイサービス

区分	1 年生	2 年生	3 年生	4 年生	5 年生	6 年生	中学 1 年	合計
男	1	3	2	0	1	0	0	7
女	2	1	4	2	0	1	1	11
計	2	4	6	2	1	1	1	18

(2) 地域別利用者数 (R2. 3. 31 現在)

盛岡市	滝沢市	合計
18	0	18

(3) 障害種別 (R2. 3. 31 現在)

区分	肢体不自由	知的障がい	発達障がい	その他	合計
男	0	1	6	0	7
女	0	1	8	2	11
計	0	2	14	2	18

6. 実施状況

(1) 放課後等デイサービス

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年計
開所日数 (日)	20	19	20	22	21	19	20	20	20	19	18	21	239
延利用児数 (人)	222	226	230	221	215	208	224	209	240	203	202	228	2628
延送迎回数 (回)	426	434	435	413	405	400	427	400	453	380	382	425	4980
1日平均利用児数 (人)	11.1	11.8	11.5	10.0	10.2	10.9	11.2	10.4	12	10.6	11.0	10.8	10.9

7. ひやり・はっと、苦情受付件数 (平成31年4月1日～令和2年3月31日)

ひやり・はっと	苦情受付	事故
1件	0件	0件

件数	ひやり・ハットの内容	結果	
0件	1 施設運営に関すること	0件	1 解決済み 1件
	2 施設設備等に関すること	0件	2 継続中 0件
	3 職員の資質に関すること	0件	
	4 施設生活に関すること	0件	3 1・2の内、県福祉サービス適正化委員会で、解決又は継続中のもの 0件
	① 介護・介助・支援	0件	
② 食事	0件		
	③ 入浴	0件	
	④ 利用時間の人間関係	0件	
	⑤ その他	0件	
	5 その他	1件	

件数	苦情の内容	結果
0件	1 施設運営に関する事 0件	1 解決済み 0件
	2 施設設備等に関する事 0件	2 継続中 0件
	3 職員の資質に関する事 0件	
	4 施設生活に関する事 0件	
	① 介護・介助・支援 0件	
	② 食事 0件	
	③ 入浴 0件	
	④ 利用時間の人間関係 0件	
	⑤ その他 0件	
	5 その他 0件	
	3 1・2の内、県福祉サービス適正化委員会で、解決又は継続中のもの 0件	

件数	事故の内容	結果
0件	1 施設運営に関する事 0件	1 解決済み 0件
	2 施設設備等に関する事 0件	送迎車を道に落とした。 →近隣住民の方が拾ったの を別職員が見ており、取り に行く。 確実に送迎車の中に入れ たことを確認してから発 車することとした。 2 継続中 0件
	3 職員の資質に関する事 0件	
	4 施設生活に関する事 0件	
	① 介護・介助・支援 0件	
	② 食事 0件	
	③ 入浴 0件	
	④ 利用時間の人間関係 0件	
	⑤ その他 0件	
	5 その他 0件	
	3 1・2の内、県福祉サービス適正化委員会で、解決又は継続中のもの 0件	

II. 運営方針

1. 基本方針

- (1) 日常生活における基本動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、適切かつ効果的な指導及び訓練を行った。障害児が日常生活における基本的動作を習得し、及び集団生活に適応することができるよう、当該障害児の身体及び精神の状況並びにその置かれている環境に応じて適切かつ効果的な指導及び訓練を実施した。
- (2) 地域との結びつきを重視し、他の障がい児通所支援事業所との密接な連携に努めた。関係市町村、他の障害福祉サービス事業を行う者、その他保健医療サービスを提供する者との連携に努めた。

(3) 関係法令等を遵守し、事業を実施した。児童福祉法及び指定障害児通所支援の事業等の設備及び運営に関する基準等を定める条例（平成 24 年岩手県条例第 79 号）に定める内容、その他関連法令等を遵守し、事業を実施した。

2. 職員の基本姿勢

事業に対する期待と要請を正しく受け止め、基本理念と事業所の目的を尊重し、職員自ら切磋琢磨してにじの宇宙の従事者、専門職としての資質の向上に努め、地域福祉、在宅福祉の向上のため努力した。

利用していただく利用者に対し質の高いサービスが出来るよう研修会等に参加し専門知識を高めることに努めた。

今後のサービス内容の情報収集に努め、利用者及び家族に情報伝達を行う。利用者一人ひとりの希望、家族の願いを聞き取り、利用者の一人ひとりにあった支援、成長に合わせた支援が出来るよう努力した。

Ⅲ. 諸会議・職員研修

1. 会議実施内容

(1) 職員会議

月 2 回全職員参加で開催。利用者状況の確認、苦情・ひやりはっとの原因、対策検討、次月の活動計画、運営の方針等を申し合わせた。

(2) 個別支援会議（モニタリング）

個別支援計画の目標の進捗状況の確認、評価、見直しを行った。

2. 職員研修実施内容（児童発達支援合同）

	研修内容	場所	参加者
1. 6. 3~4	社会福祉ファシリテーション研修	盛岡市	山口
1. 6. 11	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	盛岡市	山口、松田
1. 7. 30 8. 6 9. 6	重症心身障がい発達障がい支援者育成研修	盛岡市	木村
1. 10. 23 1. 10. 24	医療と介護の総合展	東京	松田、高橋
1. 11. 13~14	福祉職員キャリアパス対応障害研修課程初任者編	盛岡市	村上
1. 11. 17	岩手県発達障がい相談支援スキルアップ研修・普及啓発研修会	盛岡市	木村
1. 12. 11~12	女性リーダーのための指導力強化研修	遠野市	松田

1. 12. 12	岩手県障がい者虐待防止研修	盛岡市	佐藤
2. 1. 14~15	中途採用に対する新入社員研修	遠野市	松田
2. 1. 14	盛岡地域福祉サービス苦情解決情報交換会	盛岡市	渡辺
2. 1. 28	中長期計画策定セミナー	盛岡市	渡辺
2. 2. 17~18	若年者ステップアップ研修	遠野市	村上

IV. 防災関係

1. 防災避難訓練実施内容（児童発達支援合同）

月	発生内容	ねらい	利用児の活動	参加人数
4	火災 (和室コンセント)	職員が子供の生活を守る使命を認識する。 火災時における安全な避難誘導體制の確立。	安全な場所に速やかに避難する。	利用児 4名 職員 7名
5	火災 (事務室コンセント)	職員が子供の生活を守る使命を認識する。 火災時における安全な避難誘導體制の確立。	安全な場所に速やかに避難する。	利用児 4名 職員 5名
6	地震	職員が子供の生活を守る使命を認識する。 避難場所の確認と共に、減災に努める。 おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。	落下物が少ない室内中央にあつまり、揺れが収まった後速やかに避難する。	利用児 4名 職員 7名
7	地震 (和室コンセント)	担当する係が変則的になっても適切に行動する。 地震時における安全な避難誘導體制の確立。 避難場所の確認と共に、減災に努める。	落下物などが少ない室内中央にあつまり、揺れが収まった後室外に速やかに避難する。	利用児 5名 職員 6名
8	消防署見学	映像や説明で火災や地震について知る。 煙体験や地震体験を通して実際に地震、火災が起き	災害等についての話を聞く。(絵本等、災害になったらどのようにしてはならないの	利用児 9名 職員 3名

		た際の行動を知る。	かを知る。)	
9	火災 (和室コンセント)	火災時における安全な避難誘導體制の確立と非常連絡網の活用。 担当する係が変則的になっても適切に行動する。 火災時における安全な避難誘導體制の確立。	安全な場所に速やかに避難する。	利用児 4名 職員 6名
10	地震後火災 (事務室コンセント)	大地震を想定し、第二次避難場所(プリムローズ公園)への避難の仕方を確認する。 避難場所の確認と共に、減災に努める。 おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。	指導員の話の静かに聞く。 靴を履いて避難する。	利用児 4名 職員 6名
11	地震後火災 (和室コンセント)	大地震を想定し、第二次避難場所(プリムローズ公園)への避難の仕方を確認する。 避難場所の確認と共に、減災に努める。 おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。	指導員の話の静かに聞く。 防寒着を着用し、靴を履いて避難する。	利用児 4名 職員 7名
12	通報訓練	通報の際の流れを知る。 実際に通報しなくてはならなくなった時を想定し、全職員が何かあった際、対応出来る様にする。	災害等についての話を聞く。(絵本等、災害になったらどのようにしなくてはならないのかを知る。)	利用児 15名 職員 7名
1	地震後火災 (和室コンセント)	大地震を想定しつつ、担当する係が変則的になっても適切に行動する。 おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。	指導員の話の静かに聞く。 防寒着を着用し、靴を履いて避難する。	利用児 4名 職員 6名
2	地震	大地震を想定しつつ、担当する係が変則的になっても適切に行動する。 おびえている利用児に対	指導員の話の静かに聞く。 防寒着を着用し、靴を履いて避難する。	利用児 4名 職員 5名

		し声掛けを行い安全な場所に誘導する。		
3	地震	大地震を想定し、第二次避難場所(プリムローズ公園)への避難の仕方を確認する。 おびえている利用児に対し声掛けを行い安全な場所に誘導する。	指導員の話の静かに聞く。 防寒着を着用し、靴を履いて避難する。	利用児 16名 職員 9名

V. その他の活動 (主な行事) (放課後等デイサービス合同)

実施月	行 事 内 容	場 所
4月	遠足	盛岡市動物公園
7月	七夕会	にじの宇宙
8月	バーベキュー	外山森林公園
9月	遠足	盛岡市動物園
10月	ハロウィン	にじの宇宙
12月	クリスマス会	にじの宇宙
1月	石鹸づくり、キャンドルづくり スケート教室 バス電車乗車体験	にじの宇宙 盛岡県営スケート場 山岸駅-盛岡駅
2月	節分	にじの宇宙
3月	バスボム、ハーバリウム、迷路作成	にじの宇宙

通期 (定期)	毎月身体測定実施	にじの宇宙
------------	----------	-------

VI. 総括と今後の課題

他事業所との併用利用や曜日・時間等を考慮し、職員体制を整えながら対応しました。全般的に利用は安定しており、年間延べ人数 2628 名でした。

又、個々の成長に沿った支援を展開する為のアセスメントやモニタリングも定期的に行いながら、関係機関との連携も密にすることで情報を共有し支援を活かすよう努力しました。

今後、限られている空間・職員配置の中で、より専門的なサービスをどのように確保するか、児童一人ひとりの成長を見守りながら、先を見越した支援が展開できるよう努めていきます。継続し、家族、関係機関との連絡を密にしていきます。

事業展開に向け、STEMボックスの利用を含めて新規利用児獲得に励みます。

○ 今後の課題

- (1) 家族・学校、関係機関との連携を図る。
- (2) 職員間の連携を図る。(報告・連絡・相談・確認の強化)
- (3) 家族支援における専門性を高める。
- (4) 研修の充実を図り、現場実践に活かすよう努める。
- (5) ひやり・ハット、苦情等を検証し、再発防止に努める。
- (6) 人権擁護、虐待防止に努める。

平成31年度

令和元年度

おおぞら村 一番地保育園
事業報告書

目 次

I. 事業所の概要

1. 事業所の沿革	1
2. 事業所の名称及び所在地	1
3. 事業内容	1
4. 職員構成	1～
5. 利用者の状況	2
6. 実施状況	2～
7. ひやり・はっと 苦情受付件数	4

II. 諸会議・職員研修

1. 会議実施内容	4
2. 職員研修実施内容	5～

III. 運営方針

1. 運営の方針	7～
2. 職員の基本姿勢	11～

IV. 防災関係

V. その他の活動

VI. 総括と今後の課題

14

I. 事業所の概要

1. 事業所の沿革

- *平成 29 年 4 月 おおぞら村一番地保育園（定員 60 名）を開設
- *平成 29 年 9 月 一時預かり保育事業の認可、開始となる。
- *平成 30 年 4 月 定員 60 名より定員 90 名に変更、認可される。

2. 事業所の名称及び所在地

名 称 おおぞら村 一番地保育園
所在地 岩手県盛岡市津志田西一丁目 17 番 60 号

3. 事業内容

(1) 保育所

- ・対象者 盛岡市または近隣地域の 0 歳児（生後 3 ヶ月）～就学前の児童
- ・利用定員 90 名
- ・開設日 月曜日から土曜日まで
（但し、国民の休日、12 月 30 日から 1 月 3 日までを除く。）
- ・開設時間 7 時から 19 時まで
（但し、延長保育を含む。）

4. 職員構成

職員職種	正規職員	パート職員		計
園長	1			1
主任保育士	1			1
保育士および看護師	19	1		20
栄養士・調理員	2	2		4

職員名簿

職 種	氏 名	職 種	氏 名
所(園)長	佐藤 匠子	保 育 士	関 君子
主任保育士	野中 裕喜江	保 育 士	堤 晴香
副主任保育士	佐藤 千絵	保 育 士	川村 育子
副主任保育士	藤原 千秋	保 育 士	田村 大胤
保 育 士	土樋 知恵子	保 育 士	遠藤 小百合
保 育 士	佐々木 達也	保 育 士	太田 絵美子
保 育 士	種田 郁子	保 育 士	澤口 ひとみ
保 育 士	山口 美記	保育補助	齊藤 英子
保 育 士	新屋敷 梨菜	看 護 師	辛 瞳
保 育 士	桑島 花歩	栄 養 士	佐々木 優衣
保 育 士	田中 未央	調 理 師	畑中 紗奈恵
保 育 士	山内 咲紀	調 理 補 助	川目 淳子
保 育 士	北田 汐里	調 理 補 助	古家 拓子

5. 園児の入所状況 (令和2.3.1現在)

(1) 保育園開設日数

月別	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	23	22	25	26	26	23	26	24	24	23	23	25	290

(2) 保育時間

①通常保育 7:00~19:00

標準時間8:00~18:00 短時間8:30~16:30

②延長保育 18:00~19:00

③一時預かり保育(月曜日~金曜日の平日) 9:00~18:00

④園・園庭開放時間(月曜日~金曜日の平日) 9:00~18:00

(3) 入所児童数 (定員 90名)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年齢延べ合計
0歳児	11	11	11	13	16	19	19	20	21	21	21	21	204
1歳児	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	18	216
2歳児	18	18	18	18	18	18	17	17	17	17	17	17	210
3歳児	20	20	20	20	21	21	21	21	21	21	21	21	248
4歳児	20	20	20	20	20	20	19	19	19	19	19	19	234
5歳児	15	15	15	15	15	15	14	13	13	13	13	13	169
月合計	102	102	102	104	108	111	108	108	109	109	109	109	1281

(4) 延長保育 (1日当たりの平均利用人数)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
H30年度	27	28	31	29	27	28	30	22	25	26	30	30	333
R1年度	20	26	28	29	26	25	26	24	26	29	28	30	317

(5) 一時預かり保育

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
4時間未満	3	7	1	0	0	0	2	1	0	3	0	0	17
4時間以上	0	3	12	6	4	1	0	5	2	2	4	0	39
計	3	10	13	6	4	1	2	6	2	5	4	0	56
前年度	1	1	3	5	1	8	12	5	7	3	22	0	68

(6) 健康診断実施状況

健診科目	実施年月日	担当医	検診結果
小児科 (前期)	H31, 4, 25 (木)	小林小児科クリニック	アトピー性皮膚炎 (2) 喘息 (2)
小児科 (後期)	R1, 9, 12 (木)	小林小児科クリニック	アトピー性皮膚炎 (2) 喘息 (2)
歯科	R1, 6, 25 (火)	ノリ・デンタルクリニック	不正咬合 (5) 虫歯 (3)
眼科	R1, 5, 15 (水)	みたけ眼科	結膜炎 (1)、眼瞼炎 (1)
耳鼻咽喉科	R1, 5, 16 (木)	亀楽町耳鼻咽喉科クリニック	耳垢 (20)、扁桃腺肥大 (3)、 鼻炎 (5)、副鼻腔炎 (1)
*身体測定 (園内)	毎月末	各クラス担任	

(7) 給食実施状況

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
日数	23	22	24	25	25	23	26	24	24	23	23	25	287

6. ひやり・はっと、苦情受付件数（平成30年4月～平成31年2月）

ひやり・はっと	苦情受付	事故
2件	0件	0件

件数	ひやり・ハットの内容	結果
2件	1 施設運営に関する事 0件	2 解決済み 1件
	2 施設設備等に関する事 1件	引き戸の中央部分の重なり の箇所に指を挟めない ように安全パットを取付 ける。(1件)
	3 職員の資質に関する事 0件	
	4 園生活に関する事 1件	4 解決済み 1件
	5 その他 0件	アレルギー児が床に落ち ていた除去食品を口に入 れようとした。保育士が 気づき寸前で止めること ができたが、食後の清掃 や子どもの見守り等を保 育士間で連携をきちんと とることの共通理解をす る。

7. 職員研修

① 外部研修

実施主体	実施期間	研修名	会場	出席者
盛岡市保育所協議会	4月13日	平成30年度盛岡市保育所協議会総会 及び幹事会	盛岡市総合福祉センター	佐藤園長・野中
盛岡市保育所協議会	5月11日	保育研究大会 盛岡大会	盛岡市総合福祉センター	佐々木(優)
岩手県社会福祉協議会	6月3・4日	特定課題 ファシリテーション研修	アイーナ	佐藤(匠)
盛岡市保育所協議会	6月5日	給食従事者研修	総合福祉センター	佐々木(優)
盛岡市保育所協議会	6月11日	福祉サービスの苦情を考えるセミナー	アイーナ	野中
盛岡市保育所協議会	6月17日	主任会視察研修	うえだ保育園	野中
岩手県社会福祉協議会	6月26・27日	社会福祉従事者新任研修会	アピオ	桑島

実施主体	実施期間	研修名	会場	出席者
盛岡市保育所協議会	7月6日	食育・アレルギー対応	総合福祉センター	佐々木(優)
盛岡市保育所協議会	7月30日	北限のゆず利用活用講演会	メロポリタン盛岡	佐々木(優)
岩手県立療育センター	8月18日	発達支援研修会	岩手県立療育センター	野中・佐藤(千) 土樋・山内
盛岡市保育所協議会	8月31日	子育て講演会	総合福祉センター	川村
花巻市社会福祉協議会	9月6日	キャリアアップ研修「幼児教育」	花巻市障害学園都市会館	古舘
岩手県社会福祉協議会	9月7,8日	キャリアアップ研修「保険衛生・安全対策」	県立大学	佐藤(千)
岩手県社会福祉協議会	10月7,8日	社会福祉コーチング研修	アイーナ	佐藤(匠)
花巻市社会福祉協議会	10月9日	キャリアアップ研修「幼児教育」	花巻市文化会館	古舘
盛岡市保育所協議会	10月10日	公開保育	乙部保育園	太田
盛岡市保育所協議会	10月18日	キャリアアップ研修「乳児保育」	総合福祉センター	新屋敷・遠藤
岩手県社会福祉協議会	10月19,20日	キャリアアップ研修「保護者支援・子育て支援」	県立大学	佐藤(千)
盛岡市保育所協議会	10月24日	公開保育	川目保育園	田中
メディカルジャパン東京	10月24日	医療と介護の総合展	ビッグサイト	藤原
盛岡市保育所協議会	10月26日	体育実技研修:講師三上健太	西部公民館	桑島・田中 佐々木(達)
岩手県社会福祉事業団	10月31日	医療的ケア児コーディネーター研修	奥州市文化会館2ホール	辛
盛岡市保育所協議会	11月7日	保育実践からの幼児保育	総合福祉センター	佐々木(優)
盛岡市保育所協議会	11月15日	気になる子どもへの対応	総合福祉センター	佐々木(達)
岩手県福祉サービス運営 適正化委員会	11月18日	福祉サービス苦情解決情報交換会	ケアセンター南昌	野中
船井総合研究所	11月22日	企業主導型保育事業研究会	船井総合研究所	野中
花巻市社会福祉協議会	11月24日	キャリアアップ研修「幼児教育」	なはんプラザ	古舘
盛岡市保育所協議会	11月29日	感染症について	総合福祉センター	畑中
NPO法人もりおか ユースサポート	12月3日	幼稚園保育園における巡回相談支援の 充実に向けての研修会	岩手県公会堂	佐藤(匠)、山内 佐藤(千)
遠野職業訓練協会	12月11,12日	女性リーダーのための指導力強化研 修	遠野職業訓練校	野中 佐藤(千)
遠野職業訓練協会	1月14,15日	人材育成研修	遠野職業訓練校	佐藤(匠)
盛岡市保育所協議会	1月22日	食の安全研修	マリオス	佐々木(優)
NPO法人もりおか ユースサポート	1月23日	発達支援巡回指導の実態	岩手県公会堂	山内・新屋敷 野中
盛岡市保育所協議会	1月25日	子育てのパートナーとしての役割	総合福祉センター	新屋敷・土樋
盛岡市保育所協議会	1月27日	食の安全を考える講座	マリオス	佐々木(優)
盛岡市保育所協議会	2月12日	支援を必要とする子どもの健やかな成 長を願って	総合福祉センター	山内
盛岡市保育所協議会	2月13日	アレルギーに関する新しいガイドラインの 理解と正しい方法	盛岡市保健所	佐々木(優)
遠野職業訓練協会	2月17・18日	若年者ステップアップ研修	遠野職業訓練校	遠藤・桑島

② 内部研修 園内研修の実施

実施主体	実施日	研修名	会場	出席者
社会福祉法人宇宙心会	H31.4.24	危機管理マニュアル 防災管理マニュアル	事務室	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.5.23	グループ研修 ～遊びを考える～	事務室	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.6.27	ヒヤリハット ～事例を使った検証～	事務室	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.7.29	個別ケース研究	事務室	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.8.27	身体を動かす事を楽しもう ～ダンスを覚えよう～	おおぞら村 一番地保育園	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.9.30	運動会の反省	事務室	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.10.28	クラスの反省	事務室	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.11.28	嘔吐処理	ホール	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.12.17	中長期計画に向けて	事務室	園長、主任、副主任
社会福祉法人宇宙心会	R1.12.19	中長期計画に向けて	おおぞら村 一番地保育園会議室	全員
社会福祉法人宇宙心会	R1.12.23	グループ研修 ～どんな保育園にしたいか～	おおぞら村 一番地保育園	全員
社会福祉法人宇宙心会	H31.1.24	保育園の強みと弱み	おおぞら村 一番地保育園	園長、主任、副主任
社会福祉法人宇宙心会	H31.2.27	理念について	おおぞら村 一番地保育園	全員
社会福祉法人宇宙心会	H31.3.7	自由保育について	おおぞら村 一番地保育園	全員
社会福祉法人宇宙心会	H31.3.15	年齢別自由保育について 年間計画	おおぞら村 一番地保育園	全員
社会福祉法人宇宙心会	H31.3.18	今後の予定	おおぞら村 一番地保育園	園長、主任、副主任

③その他の研修

実施主体	実施回数	研修名	会場	出席者
盛岡市私立保育所協会	12回	園長会(月1回)	盛岡市総合福祉センター	佐藤匠子
盛岡市私立保育所協会	12回	主任会(月1回)	盛岡市総合福祉センター	野中 裕喜江
盛岡市私立保育所協会	12回	栄養士会	盛岡市総合福祉センター	佐々木 優衣
盛岡市私立保育所協会	6回	保健グループ	盛岡市総合福祉センター	辛 瞳
盛岡市保育所協議会	6回	広報班会議	盛岡市総合福祉センター	新屋敷梨菜
盛岡市保育所協議会	6回	研修班会議	盛岡市総合福祉センター	佐藤匠子
盛岡市保育所協議会	3回	役員幹事会	盛岡市総合福祉センター	佐藤匠子

Ⅲ. 運営方針

1. 運営の方針

【目的】

盛岡市においても保育所の待機児童問題はまだまだ解消されていない現状である。働く女性が増える時代背景の中、少子化でありながら保育所不足という現状に困っている利用者が多くいる。多様な生活スタイルのニーズに合った保育、教育の提供、子育て支援を行い、保育所の持つ意義とその使命を果たすことを目的とする。

【保育理念】

1. 保育を必要とする児童の養護・教育を行い、社会生活を営むための人格形成を図る。
2. 保護者支援や地域の子育て支援、その置かれている地域社会との連携を図り、すべての児童の健全な成長を共に育む。
3. 自然の中で遊びのびと遊び、さまざまな人との関係を保ちながら、感性や思いやりのある心を育む。

【保育目標】

- 虫や木、花とふれあい育つ豊かな感情
- かけっこ、どろ遊び、水遊び、自由な遊びで学ぶ表現力
- 日常の世代交流で身につく社会性

【保育方針】

1. 生き物や植物にふれあうことで感情が豊かになり、表現も豊かになる。子どもの興味を第一に捉え「なぜ、どうして」を一緒に探究します。
2. 遊びを自由に考えることで表現力が生まれ、まわりの環境も考える力が身につく。できるかぎり体を動かす、頭を働かせる遊びを工夫して、天候や季節に沿った遊び方の違いを感じることで環境への配慮や、対応力を培います。
3. 日頃から日常生活の中で自然に世代交流を行うことで、社会性や知恵が身につきます。
年齢、身体的違い、成長の度合いなど、さまざまな交流をあたりまえに捉えることで、偏見や差別をもたず、相手の気持ちを考えられるようになります。

★保育園は子どもが生涯にわたる人間形成にとって極めて重要な時期に、その生活時間の大半を過ごす場所です。おおぞら村一番地保育園では人としての基本的な五感を大切に考え、心身の健康と生活力を育みます。そのため、「おおぞら村」という環境を活かし、家庭のような環境の中で、さまざまな体験を通して、人として生きる力を身につけます。

〈保育指針による保育内容〉

- ・十分に養護の行き届いた環境のもと、くつろいだ雰囲気の中で子どもの様々な欲求を満たし、生命の保持および情緒の安定を図る。
- ・健康、安全など生活に必要な基本的な習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を養う。
- ・人との関わりの中で、人に対する愛情と信頼感、そして人権を大切にすることを育てるとともに、自主、自立及び協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う。
- ・生命、自然及び社会の事象についての興味や関心を育て、それらに対する豊かな心情や思考能力の芽生えを培う。
- ・生活の中で、言葉への興味や関心を育て、話したり相手の話を理解しようしたりとするなど、言葉の豊かさを養う。
- ・様々な体験を通して、豊かな感性や表現力を育み、創造性の芽生えを培う。

【保育の重点】

- ・広いスペースや豊かな自然、多様な人と触れ合いができる環境を有効にいかし、新設園として地域に受け込みながら充実した保育の提供を行う。
- ・保育所保育指針及び諸マニュアル、法人理念に沿いながらカリキュラムの模索、確立を目指し接続性のある保育を目指す。
- ・保育情報の発信と地域子育て支援の強化を図り、地域に根差したコミュニティースペースとして交流を充実させる。更に人と人が支え合う大切さを感じながら多幸感漂う環境の中で地域における子育ての拠点となる取り組みを進める。

【保育の内容】

☆0歳児保育方針

- ・室内の使い方を工夫し、月齢の違う乳児の生活のリズムの安定を図るよう保証する。

☆1歳児保育方針

- ・一人ひとりの子どもの発達を踏まえ、個々の発達の成長を大切にする。
- ・身のまわりのことに興味を持ち、保育士の援助を受けながらやろうとする意欲を育てていく。

☆2歳児保育方針

- ・保育士の援助を受けながら基本的な生活習慣を身につけられるようにする。
- ・子どもの発達を保証するために、遊びを大切にし遊びやすい環境を整える。

☆3歳児保育方針

- ・いろいろなことに興味関心を持って遊べるように手作りおもちゃなどを活用し、環境を整える。
- ・体力づくりを意識して体を動かして遊ぶ体験を多くする。

☆4歳児保育方針

- ・友だちとのつながりを感じながらさまざまな体験に意欲的に取り組めるように、手作りおもちゃを活用しながらイメージ豊かに遊べるようにする。
- ・地域との交流など人と人とのつながりを大切に豊かな経験ができるようにする。

☆5歳児保育方針

- ・友だちと共通の目的に向かって取り組む楽しさを味わう経験を多く設け、自分たちで遊びを作り出すおもしろさを経験できるようにする。
- ・さまざまな人との交流しながら意欲的に関わろうとする気持ちを育てるようにする。
- ・就学に向け、基本的な生活習慣や社会的ルールに触れ、道徳感情を育てるようにする。

【開所時間】 午前7時～午後7時

【保育時間】 ・標準時間利用者は前後を含め11時間の中で利用可

曜日	保育時間認定 (11時間)	延長保育時間
月～土	午前7時～午後6時	午後6時～午後7時

・短時間の方は原則的な保育時間 (8時間) の中で利用可

曜日	保育時間認定 (8時間)	延長保育時間
月～土	午前8時30分～午後4時30分	午前7時～午後7時の内の認定時間以外

【保育内容】

- ・デイリープログラム (日課) については、年齢に応じて園長、主任、保育士が協議して定めるが、おやつ、お昼寝等は必ず含まれるように配慮する。自然に触れながら手作りおもちゃ等で創意工夫する面白さを味わわせ、子どもらしい生活を保障する。月間及び年間計画などについては、職員会議で協議して決める。

※デイリープログラム 別紙2

【年間行事予定】

- ・子どもに無理の無いように行事の厳選を心がけ、おおぞら村の中の保育園として多様な人々と交流することに重点をおいて年間行事を予定する。

※主な年間行事予定 別紙3

【給食の実施計画】

- (1) 乳児 月齢によって離乳、家庭からのれんらくちょうで食事の時間を配慮し、初期・中期・後期と与え、1年1ヶ月で普通食とする目安で進める。
- (2) 1～2歳児 完全給食、朝のおやつ、午後のおやつ、牛乳など
- (3) 3歳以上児 副食給食、午後のおやつ、牛乳など

【健康管理】

- 園児の健康管理・保健相談、衛生管理等、看護師を中心に実施する。
 - ・年度初めに保健衛生・感染症について看護師と研修を行い、共通理解をして健康管理に努める。
 - ・毎日の視診結果や病気、ケガ等を把握し、看護師は保健日誌に記録する。
 - ・園児の身体測定（毎月）、内科診断（年2回）、歯科検診（年1回）、就学時検診（就学先）、歯磨き指導、水遊び指導を行う。
 - ・職員の健康診断（年1回）、インフルエンザ予防接種、給食業務職員及び他職員（全職員）検便（毎月）を行う。給食業務職員はノロウイルス検査も実施。
 - ・保健だより発行する。

【衛生管理】

- 感染症対応マニュアルに基づいた対応とマニュアルの作成、見直しを定期的に行う。
 - ・衛生管理については研修会に参加し、より一層の徹底を図るよう努める。
 - ・毎日の保育室内の清掃・消毒を徹底する。
 - ・衛生管理マニュアルによるチェックを毎日行う（給食業務職員）
 - ・冷凍庫にて原材料・調理済み食品の保存（2週間）をしていく。
 - ・タンク清掃、を定期的に行う。
 - ・害虫駆除、砂場消毒を定期的に行う。

【栄養管理】

- 栄養士による栄養管理を行う。
 - ・栄養士による献立、給食だよりを毎月発行し保護者に伝える。
 - ・給食現況報告書（4月） ・栄養定期報告者（11月）
 - ・アレルギーを持つ園児の除去食を実施する。
 - ・盛岡市の「アレルギー対応除去食の診断書」の提出、保護者からの問診、情報交換、関係機関と連携をとりながら進めて行く。（平成29年度4月より提出義務は管理表の複写提出に変更となる）
 - ・毎日の食事を玄関入口付近に展示し保護者と連携する。
 - ・園長、主任、保育士、調理員と連携しながら子どもの喜ぶ給食を目指す。
 - ・クラスでクッキング等を行い食に関心をもてるようにする。
 - ・各年齢、野菜作りに力を入れ食に対する興味関心を高めていく。

【特別保育事業】

- 延長保育事業…保育園に入所している乳幼児の通常の保育時間、午前7時～午後6時までを超えて延長保育をすることにより、保護者の利便性の向上を図り、乳幼児及びその家庭の福祉の増進に資する。
- 一時預かり保育事業…保育所に入所していない子どもを就労、病気、冠婚葬祭等で保護者が一時的に家庭で保育できない場合、代わりに一時的に預かり保育を行う。
- 地域子育て支援事業(育児不安等についての相談指導) …地域の子育て家庭や子ども等に対する相談指導を行うとともに、各種子育てに係る情報提供、援助の調整を行う。
- 地域子育て支援事業(園庭開放) …親子の交流の場や遊びとして保育園を開放する。

2. 職員の基本姿勢

【職員計画】

- ・経営理念・保育方針・保育目標に基づき、保育課程、年間・月間指導計画、週案・日案等を策定し、児童福祉の増進及び、教育の向上を目指す。
- ・園内研修や各種研修会に参加し、研修での学びを共有して保育士の人間性と専門性を高めるなど資質の向上を図り、保育内容の更なる充実を目指す。
- ・特別な支援を必要とする児童や保護者の対応については、職員共通理解と連携のもとにその児童・家庭に応じた配慮・支援を行う。
障がいのある子どもの保育にあたっては、必要に応じて加配などにも配慮し、家庭と専門機関との連携を密に行い、統合保育の中で育ち合うことができるように努める。
- ・役割分担及び責任体制は、職員処務規程のとおりとするが、常に協調と連携を密にし、円滑な施設運営を行う。

【会議】

- ・理事会・評議委員会
年数回開催し、施設業務の適正な管理、経営を進める。
- ・第三者委員会
外部の有識者等で組織され、客観的視点で園の改善点を指摘し、改善方向を示唆する。
苦情処理、自己評価アンケートの分析等を行い、その情報を公開する際の検閲機関となる。
- ・リスクマネジメント委員会
リスクマネジメントに関する取り組みを行い、サービス提供による利用者の事故等、ヒヤリハットや事故の状況等について分析・検証するとともに、注意喚起や事故防止策を行う。
- ・コンプライアンス委員会
業務管理体制整備規程に基づき、職員の法律違反・不祥事等について、法人の諸事業が法令を遵守し遂行されるよう、内部通報事案への対応の検討・検証や事業所等に対する提言や啓発・教育を行う。
- ・職員会議
定例職員会議は園長の招集で毎月1回、副園長、主任保育士、副主任、各組代表者、栄養士、調理師、看護師)の参加を得て開催する。内容は保育園の運営面に関する事、保育内容に関する事、子どもの発達課題、指導計画に関する事検討、周知徹底する。
- ・以上児未満児会議
主任の招集でクラス担当代表者が参加し、子どもの育ちや様子、クラス運営等の検証、振り返り、次月への接続、カリキュラム等、共通に把握したいこと等を協議する。
- ・申し送りは午睡時間に毎日行い、クラスの状況、出欠状況、子どもの様子、渉外関連事項等を連絡し合い、日誌に記録する。

【苦情・トラブル対応】

- ・苦情処理委員会を月1回行い、園長、主任、第三者委員で面接、電話、意見箱投函など苦情やトラブルを受け、検討し、改善し、よりよい保育園運営を目指す。また必要な事項を盛岡市に報告する。

第三者委員 ①吉田 義仁 ②吉田 茂

【人材育成】

○人事考課に関連する事項を定め適材適所、正当な評価を図り職員のモチベーションの向上に努める。

- ・自己評価表の提出後、面談を行う。(クラスリーダー→副主任→主任→園長→理事長) 最終評価の決済は理事長とする。
- ・人材の育成、組織の活性化に努める。
- ・働きやすい職場づくりに努め、人材の流出を防ぐ。
- ・福利厚生(厚生年金、健康保険、雇用保険、労災、退職共済の加入)の充実を図り、働きやすい環境を作る。

【保護者に向けて】

- ・入園児の保護者との面談と家庭調査票の提出から家庭環境を把握し十分な支援に備える。
- ・行事参加を促し、園生活への関心を持ち子育ての充実感を味わう機会を設ける。
- ・日頃より保護者との連携を密にし、保護者のニーズの把握に努める。また保護者会の組織化や活動を援助し、子どもの保育・教育の充実につなげ、保護者支援の機会とする。
(入園式、保育参観、夏祭り、運動会、クリスマス、進級・卒園お祝い会、卒園式、お誕生会、手作り弁当)
- ・園だよりやクラスだよりで行事、お知らせ、協力願いなど(毎月1回)を行う。
- ・メール連絡網による緊急時の発信や情報提供(災害等による緊急連絡、園内お知らせ等)を行う。

【地域との連携】

- ・地域の保護者の子育て支援のため、一時保育、子育て相談、園庭解放を実施し、遊びの提供や子育て相談を行い、保育園が身近な存在となるよう努める。
- ・関係校と連携を取りながら保育士志望学生、看護師、栄養士、調理師等志望学生の実習生受け入れを行い、人材育成に貢献するとともに人材確保にもつなげる。
- ・地域の中高生の職場体験、大学、専門学校のインターシップやボランティア等、福祉体験を受け、人材育成の一端を担う。
- ・幼小連携を図り、スムーズな小学校への移行に努める。
- ・地域との交流、地域老人との交流を持ち、地域の活性化の一端を担う。
- ・小規模保育施設のさくら保育所との交流を図る。

IV. 防災関係

【安全管理・事故対応】

○危機管理マニュアルに沿って必要な訓練を行い子どもの安全を図る。

○火災、地震、不審者対応の年間計画に沿って訓練を行い、防犯教育を進める。

- ・防火管理の役割を組織化し、毎月の避難訓練（火災、地震、不審者対応、第二避難場所確保に努める。関係機関と連携して総合避難訓練年2回行う。）
- ・交通安全指導 年1回を行い、交通安全意識を培う。
- ・災害などの緊急時にライフライン停止や通信不通時の決まり事の周知をする。
- ・防災設備(非常ベル、消火器等)の定期点検は外部委託により実施する。
- ・日常の安全点検(屋外、室内)はチェック項目に従って定期的に自主点検する。
- ・AEDの設置を行い緊急時に備える。また地域にも貢献する。

○事故が起きた時の対応の流れをマニュアル化し職員で共通理解し迅速な対応を図る。

○アクシデントレポートやヒヤリハット事例を検討する機会を設け、事故の再発防止に努める。

○賠償保険（東京海上日動火災保険㈱）、傷害保険加入（スポーツ振興センター、学校安全互助会）し、万が一に備える。

V. その他の活動

開門	0歳	1～2歳	3歳以上
07:00	順次登園	順次登園	順次登園
09:00	健康視診・検温 あそび・おやつ	健康視診・検温 あそび・おやつ	健康視診・検温 あそび
10:00			
11:00	昼食・離乳食・授乳	昼食	給食準備 昼食・はみがき
12:00	午睡	午睡	午睡
13:00			
14:00			
15:00	おやつ	おやつ	おやつ
16:00	順次降園	順次降園	順次降園
17:00	あそび	あそび	あそび
18:00	延長保育		
19:00	延長保育		
閉門	延長保育		

主な年間行事予定

月	保育園として	おおぞら村として
4月	・入園・進級式	
5月	・子どもの日のお祝い会	・お花見会
6月	・親子遠足	・チャグチャグ馬こ見学
7月	水遊び	
8月		・夏祭り会
9月	・保育参観月間	・運動会・敬老の日ふれあい会
10月		・ハロウィン収穫祭
11月		・干し柿、干し大根作り
12月	雪遊び	・クリスマス会・餅つき会
1月	↓	・みずき団子作り
2月	↓	・節分豆まき会
3月	・進級卒園お祝い会 ・卒園式	
備考	〈毎月行方行事〉 ・お誕生会、身体測定、避難訓練 手作りお弁当の日	通常の生活の中で老人、地域、障がいのある方々と交流を行う。
	〈園児の検診〉 ・1年1回 眼科、耳鼻科、歯科 ・1年2回 内科（前期、後期）	
・おおぞら村としてさまざまな取り組みを行う。 ・季節により、また地域との交流の中、日本の「こよみ」に合わせた行事を取り入れていく。		

VI. 総括と今後の課題

一番地保育園の理念と保育方針に基づき、中長期計画に沿った事業を展開していく。令和2年度以降は、少子化現象が予想されるため、保護者より「選ばれる保育園」になっていく必要がある。そうしたことを踏まえ中長期計画の立案及び実施、評価、反省等、PDCAを回しながら職員全体で進めていく。

- ・保育理念や方針に沿った計画立案と実践（手作り玩具・音楽・運動）
- ・園庭の緑化（構想・購入）
- ・SDGSの実践（地域貢献・健康増進等）＊グループ事業所と連携して行う。
- ・民営化事業に伴い、盛岡市払い下げ保育所の獲得
- ・職員の資質向上を踏まえた園内外研修の充実
- ・事業計画を見据えた人材確保と育成
- ・第三者評価の受審